

## 振り返りシートの回答

## 《資料★》

問1：著作権保護を強くした方が情報社会は発展すると思うか、著作権保護を弱くした方が情報社会は発展すると思うか。

情報社会が発展すると思うのはどちら？		学習後		計
		著作権保護を強くする	著作権保護を弱くする	
学習前	著作権保護を強くする	62	46	108
	著作権保護を弱くする	61	135	196
計		123	181	304

問2：違法ダウンロード刑事罰化で情報社会の音楽文化は発展すると思うか、衰退すると思うか。

違法ダウンロード刑事罰化でどうなると思うか？		学習後		計
		音楽文化が発展する	音楽文化が衰退する	
学習前	音楽文化が発展する	60	36	96
	音楽文化が衰退する	70	138	208
計		120	174	304

振り返りシートの集計結果からいくつかの傾向が読み取れる。

- 1) 学習前後両方で「著作権保護を弱くした方が情報社会が発展する」「違法ダウンロード刑事罰化で音楽文化が衰退する」とした生徒は全体の約 45%である。生徒は消費者の立場で著作権法を学んでいることを踏まえると、自然な数字と言える。
- 2) 学習前後で考えを変えた生徒は約 35%、考えを変えなかった生徒は約 65%である。以下、特徴的な意見を要約引用する。

## 問1 【強くする⇒強くする】

著作権保護が弱いとコピー商品が出回る。

⇒ コピー商品や類似商品が出回り、原作者の立場が失われる。

## 問1 【強くする⇒弱くする】

変に真似されると創作者や権利者は嬉しくはない。

⇒ 著作者が著作物を広く知られたいと思う場合、作品が公共財産のようになれば様々な人が新しい作品を作るようになることで原作の売れるようになると思う。(『ブラックジャックによろしく』を例にしていた)

## 問1 【弱くする⇒弱くする】

権利を弱くすることで情報が共有され宣伝になり、情報社会が発展する。

⇒ 著作財産権の保護期間が 50 年と長いので、作品が忘れられてしまう可能性がある。

## 問2 【発展する⇒発展する】

違法ダウンロード刑事罰化になったとしても、レンタル CD などもあるから音楽文化は衰退しない。

⇒ 本当に良い音楽なら正規ダウンロード購入をするだろう。そのために法整備が必要である。

問2【発展する⇒発展する】

違法ダウンロードがなくなることで正規のダウンロードが期待できる。

⇒ JASRAC があるように音楽社会は整備されているので、違法ダウンロード刑事罰化で正規ダウンロードが増えると思う。

問2【衰退する⇒衰退する】

違法ダウンロード刑事罰化によってCDの売り上げた落ちたと聞いたことがあるので発展しないと思う。

⇒ 刑を執行される人が出なければ変化はないと思う。

問2【衰退する⇒衰退する】

YouTube などにより海外にも音楽が届くことを考えると、違法ダウンロード刑事罰化によって少し衰退すると思う。

⇒ YouTubeなどでPVを見ることで新しいアーティストを知り、LIVE参加やCD購入につながると思う。そんなに厳しくする必要はないと思う。

問2【衰退する⇒発展する】

音楽の無料ダウンロードにより音楽の関心を生み音楽文化は発展するが、違法ダウンロード刑事罰化によってダウンロードをしない人が増えて衰退すると思う。

⇒ ダウンロード刑事罰化により著作権が守られ、JASRACなどの機関により正規に音楽ダウンロードができるようになる。よって不正が無くなり音楽文化が発展すると思う。

問2【発展する⇒衰退する】

正規に音楽を購入するようになるので発展すると思う。

⇒ アーティストの知名度が上昇するし、CDを購入したい人はするだろう。ライブでの利益を確保すればよいと思う。

以上